

東京都若年性認知症
相談支援
マニュアル



東京都若年性認知症相談支援マニュアル



東京都若年性認知症
相談支援
マニュアル

泣かなくて
いいんだよ。



東京都若年性認知症総合支援センター

 東京都福祉保健局

『若年性認知症になっても、泣かなくていいんだよ』

このマニュアルの表紙デザインは、若年性認知症の本人、家族が作成したものを寄贈していただきました。“泣かなくていいんだよ”というコピーは若年性認知症の本人によるものです。

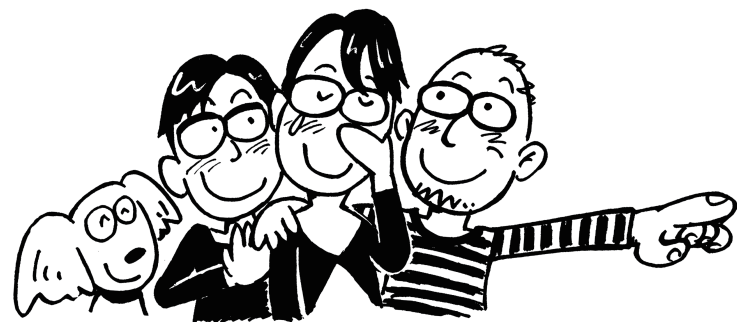
平成 22 年にアルツハイマー型認知症と診断された澤本恭子さんは、若い頃からコピーライターとして活躍されていましたが、仕事を辞めて毎日泣き続けていたそうです。平成 24 年に東京都若年性認知症総合支援センターに来られた夫の澤本捨史さんの相談は、恭子さんは元々明るい性格であったのに、毎日落ち込んでいることが心配だ、好きなテニスやプールなどに行ってほしいが、どうしたらいいのかという内容でした。

若年性認知症支援コーディネーターによる専門病院の選択の助言や経済的支援の導入についてのサポートの後、恭子さんは現在は介護保険を申請して週 3 日若年性認知症専門デイサービスの通所を楽しみに生活され、明るさを取り戻されています。

夫の捨史さんは、「このコピーは、ずっと泣き続けてきた妻だからこそ言葉だと思う」と話されています。

澤本さん夫婦は、「人や社会の役に立ちたい」という気持ちで、このマニュアルの表紙デザインを作成されました。私たち支援者は、若年性認知症の人の社会参加への意欲を大切に、若年性認知症の人が笑顔を取り戻せるよう相談支援を行うことを心がけていきたいと思えます。

(若年性認知症支援コーディネーター 駒井由起子)



澤本さん家族

東京都若年性認知症相談支援マニュアル

執筆者

主執筆者：駒井 由起子

東京都若年性認知症総合支援センター センター長
特定非営利活動法人いきいき福祉ネットワークセンター 理事長

執筆協力者：齋藤 正彦

地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立松沢病院 名誉院長
(第 1 章 1. 若年性認知症の原因疾患)

表紙デザイン：澤本 捨史

表紙コピー：澤本 恭子

イラストレーション：菅野 一成

〈協力者〉

長嶋 紀一 学校法人日本大学 名誉教授

小野寺敦志 学校法人国際医療福祉大学 准教授

干場 功 特定非営利活動法人若年性認知症サポートセンター理事

東京都若年性認知症相談支援マニュアル

平成 28 年 5 月 31 日 発行 平成 29 年 3 月 31 日 第 2 版発行
令和 5 年 3 月 17 日 第 3 版発行

編集・発行 東京都福祉保健局
〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1
TEL. 03-5320-4276 FAX. 03-5388-1395

編集 東京都若年性認知症総合支援センター
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 5-12-1 TS 碑文谷ビル 3F
TEL. 03-3713-8205 FAX. 03-6808-8576
E-mail jyakunen@ikiikifukushi.jp

印刷・製本 株式会社 遊文舎
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2 丁目 20-7
水道橋西口会館 8F
TEL. 03-5357-1420 FAX. 03-5357-1421